

「やまばとギャラリー」「個展」 開催中!!

三重病院の中で「やまばとギャラリー」と「個展」が開催されているのをご存知ですか？

5病棟(重症心身障がい児者病棟)の患者さん、2病棟(小児病棟)の患者さん、通所支援事業の利用者さんたちで、外来から5病棟への渡り廊下(やまばとギャラリー)に作品を展示し、病院の雰囲気盛り上げて?！います。その「やまばとギャラリー」にくわえ、さらに9月からは不定期ですが、「個展」と称して外来出入り口(ロビー)にも拡大し、展示しています。みなさん、ご存知でしたでしょうか？

「やまばとギャラリー」は展示を始め、1年半が経過しました。少しずつジワジワ?!とみなさんにも知って頂いているようで、先日は5病棟の患者さんが自分の作った作品を見に散歩へ行くと、他の病棟に入院されている患者さんが「あなたたちが作っているの?素敵ね～。私はリハビリでここ(渡り廊下)を歩くのだけど、どれも素敵でリハビリも苦痛じゃないの。友人にも「見においで!」と声をかけたのよ」と声をかけて下さり、患者さんにとっては家族や病棟スタッフ以外の他の方々にも見ていただき、褒められる喜びを感じる素敵な機会になりました。患者さんたちはと～っても喜び、次の作品の意欲にもつながりました～♪



ロビーの個展



(児童指導員 丸澤 由美子)

展示当初からの「エコ」も継続して実施しています。包装紙、牛乳パック、段ボール等をリサイクルして、作品を作っています。どの作品も患者さんの一生懸命な気持ちが吹き込まれ、とっても“味”のある作品になっており、世界で1つだけのプレミアな仕上がりになっています☆



ミノムシさん
冬支度はじめる

外来棟から5病棟への廊下(やまばとギャラリー)は、普段なかなか通ることがないかもしれませんが、9月からは外来出入り口(個展)にも作品を展示しています。是非お立ち寄りください。

「〇〇描く!」「〇色にする～」等、患者さんが自ら絵の構成を考え、積極的に描いています。個性豊かな作品が、皆さんをお待ちしています♪是非、三重病院の芸術家たち(制作者たち)を見かけたら、感想などお聞かせいただけると嬉しいです!

そして…、次号のニュースレターから定期的に「やまばとギャラリー」「個展」について、お知らせさせていただくコーナーが始まります!お楽しみに～♪

医療福祉相談室 だより

ソーシャルスキルトレーニング(SST)について

耳慣れない言葉かもしれませんが、SSTとは認知行動療法の一つで、対人関係を中心としたコミュニケーションや、困ったときの自己対処能力を高める方法を学ぶものです。当院では小児病棟に入院中の患者さんに行っていますが、最近では、病院だけでなく、学校や職場でも取り入れているところが増えてきました。



例えば、あなたも一度はからかわれた経験がありませんか?自分を大事にした自己主張ができれば、冗談のからかいも、あまり気にせず上手に対処することができます。また、自分に自信がない時は短所ばかりに目が行きがちです。でも周りの人はそうは思っていないかったり、見方をすこし変えれば長所になったりもします。SSTでは、そのような自分を大切にしたい自己主張や対人関係のコツをゲームの中に組み込んだり、場面を作って演技(ロールプレイ)したりして楽しく学べるようにしています。

(医療社会事業専門員 高村 純子)